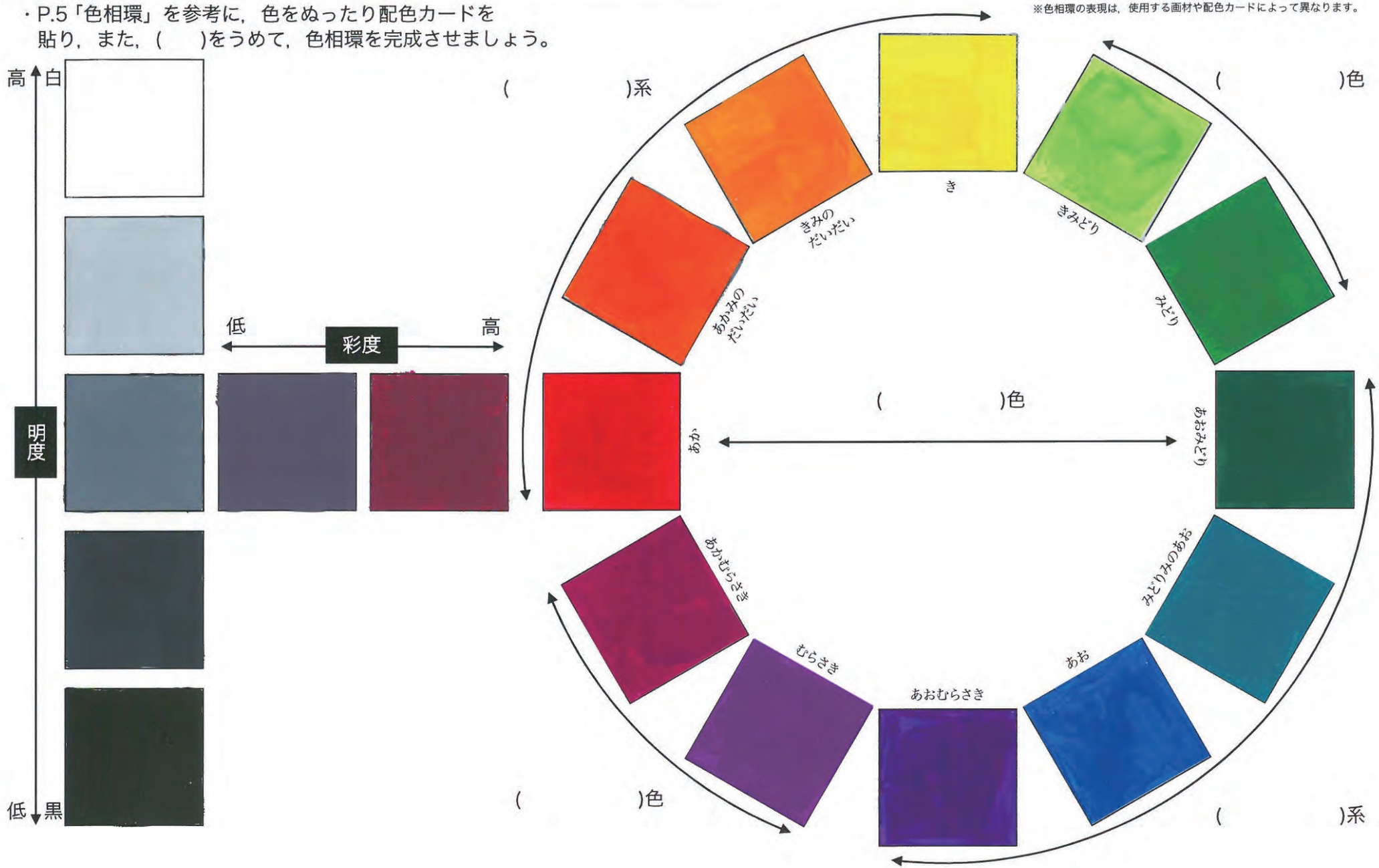
ワークシート

色のルール

『美術資料』P.4～6　「色の整理」　　年　　組　　番　名前

・P.5「色相環」を参考に，色をぬったり配色カードを貼り，また，(　　)をうめて，色相環を完成させましょう。

※色相環の表現は，使用する画材や配色カードによって異なります。



ワークシート

色の効果

P.5　「補色」

秀学社『美術資料』P.5　「色の進出・後退，膨張・収縮」

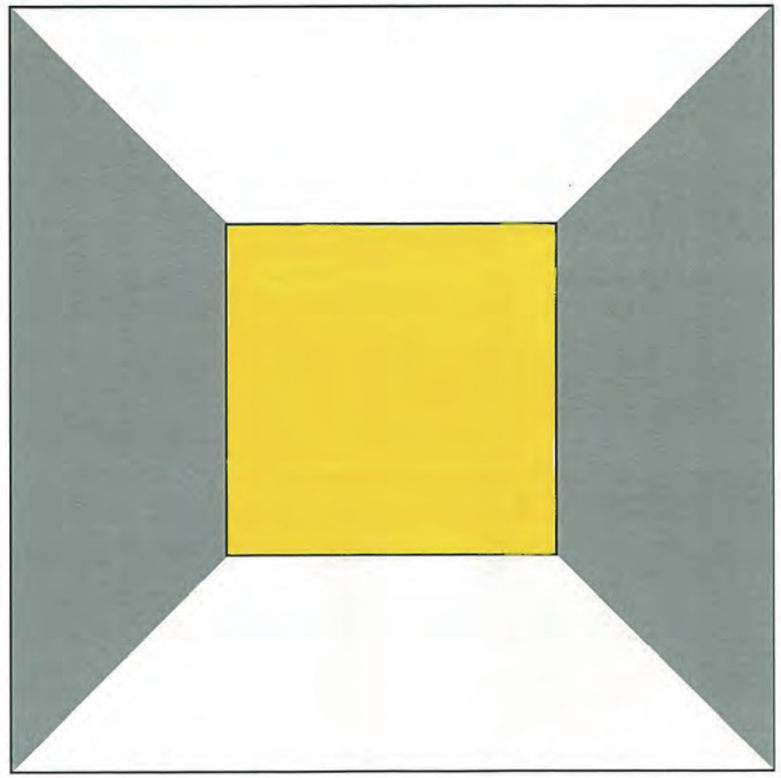
年　　組　　番　名前

複製禁止

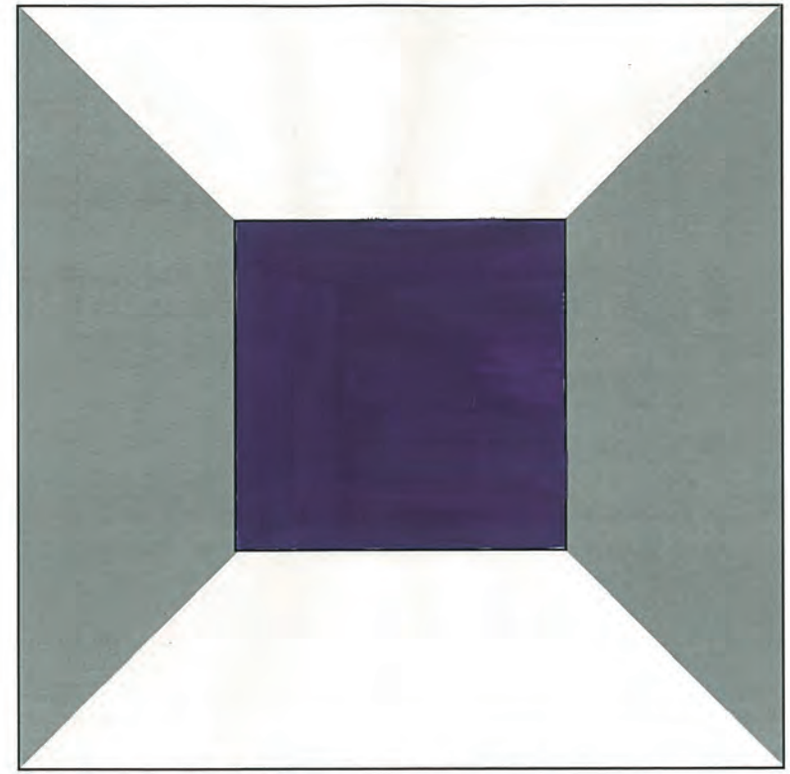
1. P.5「色相環」を参考にして補色の組み合わせを選び，下の枠内にそれぞれぬり，混ぜるとどのような色になるか試してみましょう。

2. P.5「色の進出・後退，膨張・収縮」をみて，中央の空白に色をぬり，色の効果を確かめましょう。

暖色



寒色



★自分の部屋に，進出色か後退色を使うならどちらを使いますか。また，それはなぜでしょうか。友達と話し合ってみましょう。

ワークシート

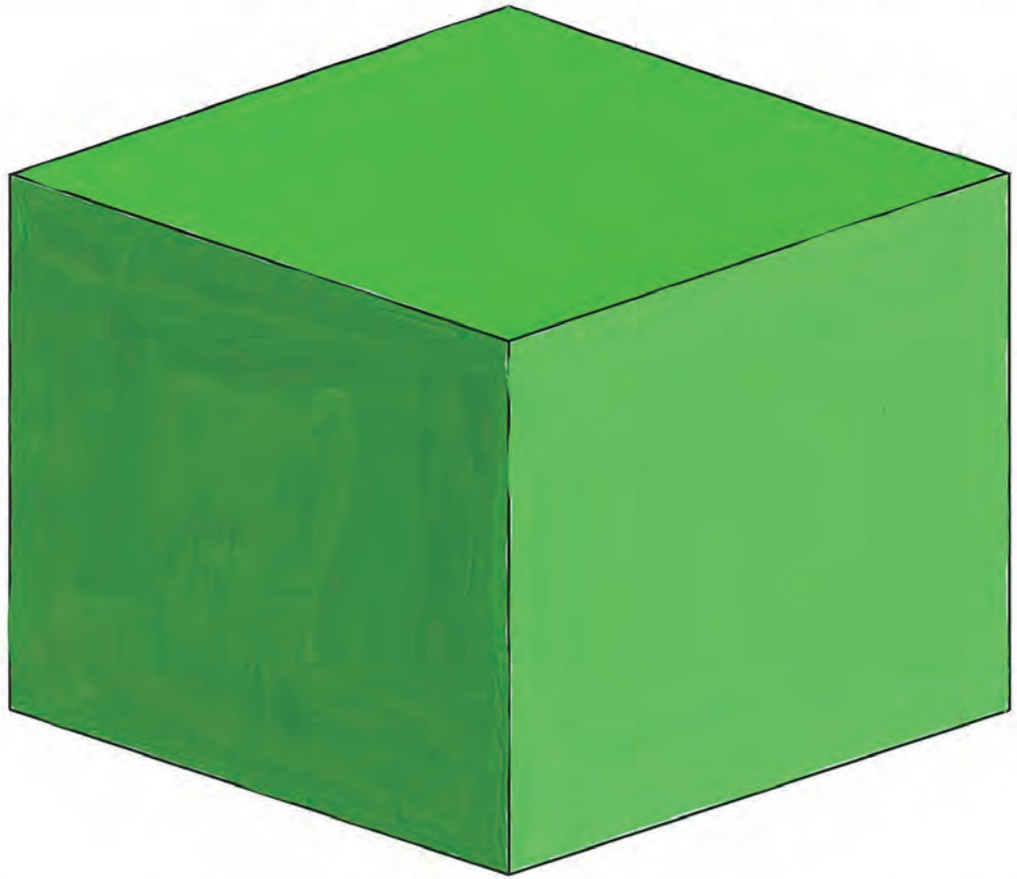
色の明るさ・鮮やかさ

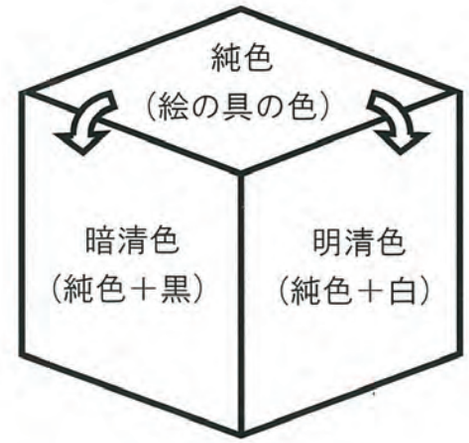
秀学社『美術資料』P. 4　「色の三要素(三属性)」

年　　組　　番　名前

複製禁止

1. P.4「色の三要素(三属性)」を参考に，次の図形の上の面に純色をぬり，他の面は明清色と暗清色をそれぞれぬりましょう。





純色 ……各色相の中でもっとも彩度の高い色。
明清色……純色に白だけが混ざった色。
暗清色……純色に黒だけが混ざった色。

2. 白と黒をそれぞれ混ぜることで純色からどのような変化がおこりましたか。色相・明度・彩度についてわかったことを書きましょう。

ワークシート

色の感情

P. 6　「色の調子」
秀学社『美術資料』P. 7　「配色の工夫」

年　　組　　番　名前

複製禁止

1.　P.6「トーン分類図」を参考に，下から言葉を１つ選び，
その言葉に合いそうなトーンを探し，その名前を書きましょう。

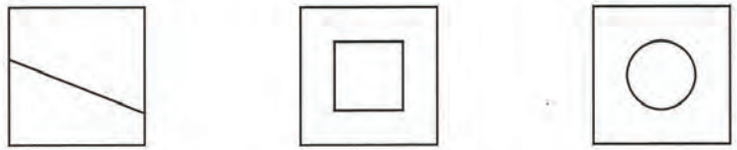
甘い		にがい	酸っぱい		辛い
暖かい	冷たい	軽い	重い	強い	弱い
近い	遠い	やさしい	こわい	新しい	古い
春		夏	秋		冬

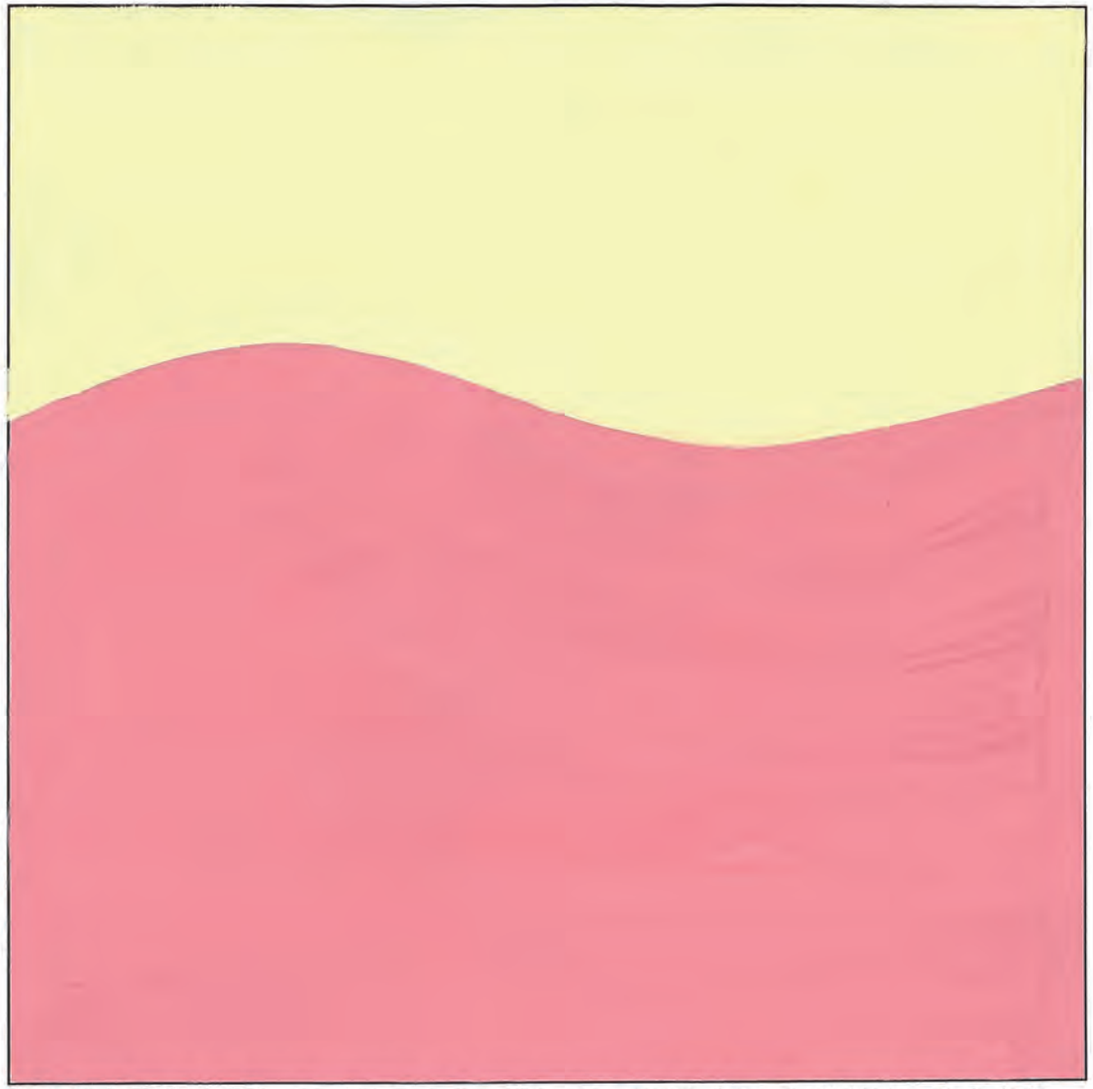
(例)選んだ言葉＿熱い＿トーンの名前＿ビビッド＿

選んだ言葉＿やさしい＿トーンの名前＿ペール＿

2.　１で選んだ言葉に対応すると考えたトーンからイメージに合う色２色を
選び，右の四角を２つに分割して，選んだ２色で彩色してみましょう。

（分割の例）





★友達の配色を見ながら，色のイメージについてP.6「トーン分類図」などを参考に話し合ってみましょう。

ワークシート

そっくりな色

秀学社『美術資料』P. 11 「12 色の絵の具でつくる」

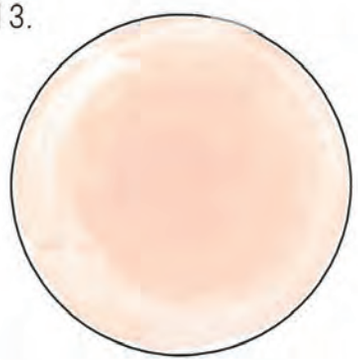
年　　組　　番　名前

複製禁止

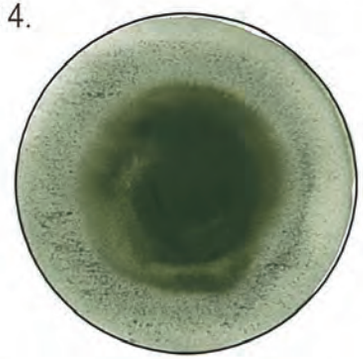
1. P.11「色をつくるヒント」の No.13～18 の色をそれぞれ混色してつくり，○の中にぬってみましょう。

[例]

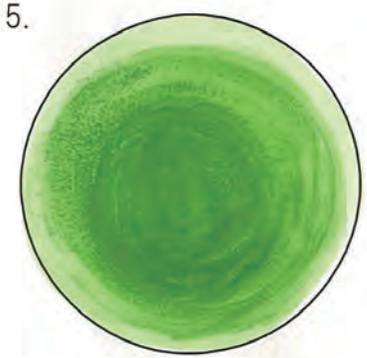
13.



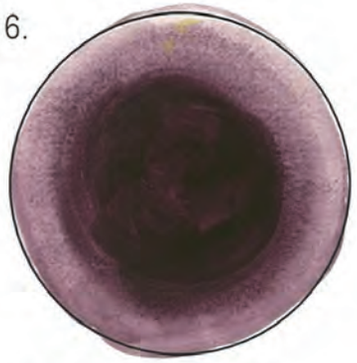
14.



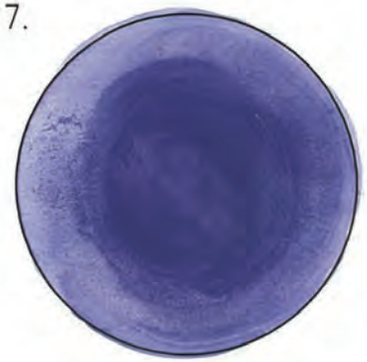
15.



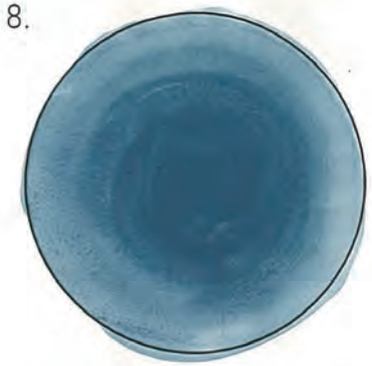
16.



17.



18.



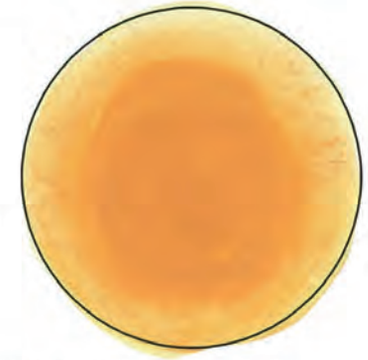
※色の表現は，使用する画材や配色カードによって異なります。

2. 自分の持ち物や教室にある物で，その色と「そっくりな色」を混色してつくり，○の中にぬりましょう。

選んだ身の回りの物 クレヨンの箱の色

・何色を混ぜればそっくりな色をつくることができるでしょうか。予想して，混ぜる色の名前を書きましょう。

(黄・朱)



★選んだ物の色相・明度・彩度について，P.4「色の三要素(三属性)」，P.6「トーン分類図」を参考に，友達と話し合ってみましょう。

ワークシート

遠近法を学ぶ

秀学社『美術資料』P. 17　「遠近法」

年　　組　　番　名前

複製禁止

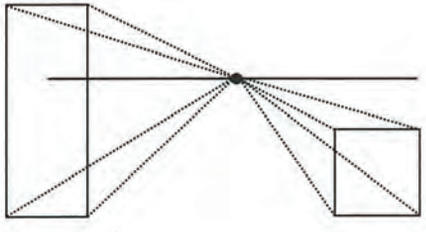
一点透視図法の作り方

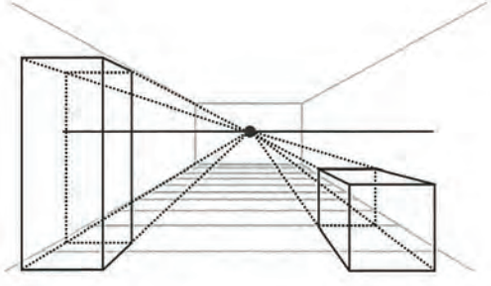
透視図法とは，近くのものと遠くのものとの間にある空間を画面上に表現する方法のことをいいます。

① 消失点※を決める。

② 正面の形を描く。

※消失点……目の高さにあり，奥行きを表す補助線が集まる場所を言う。



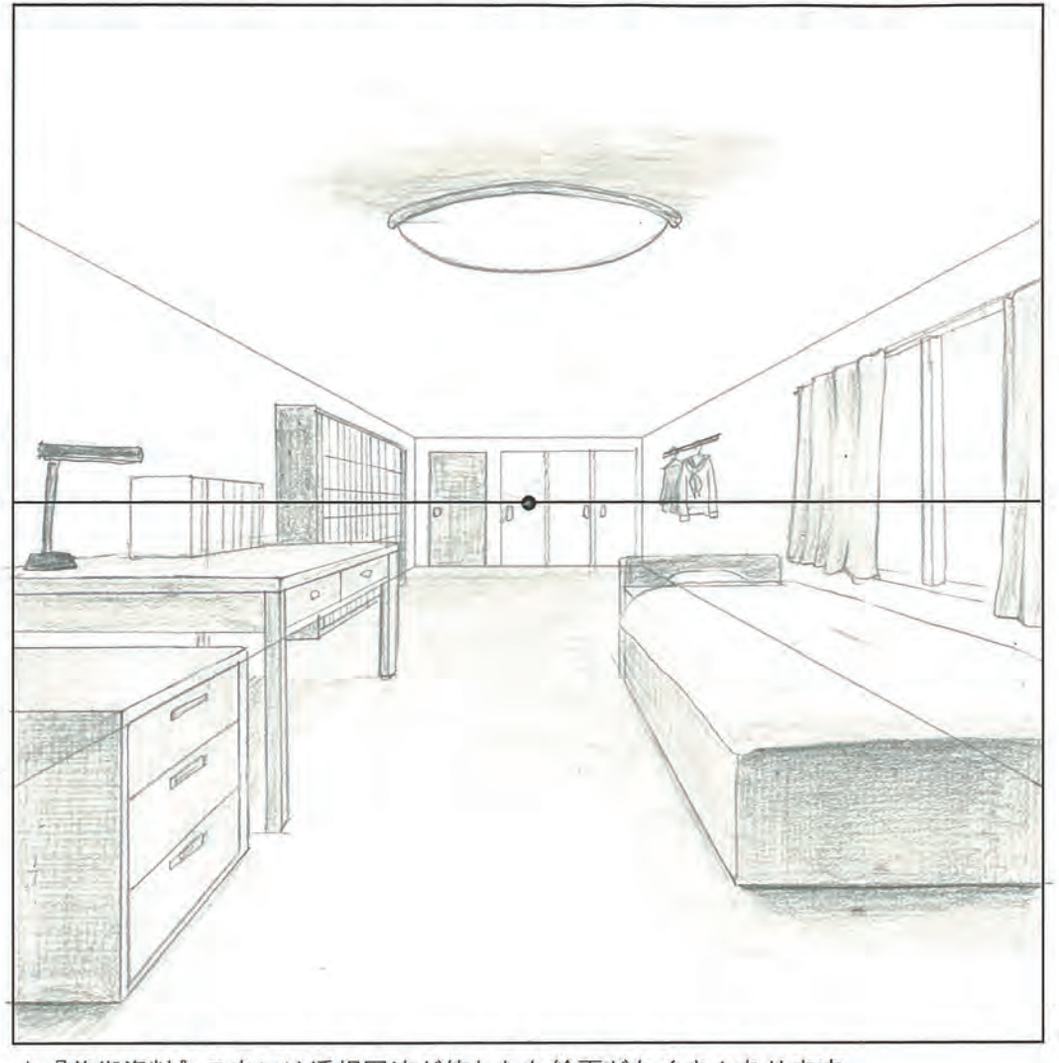


③ 正面の形の頂点と消失点を結ぶ。奥へ向かう線はすべて消失点へ行く。

④ 奥行きの長さを決めて区切る。奥へ向かうにつれて間隔はせまくなっていく。

1. P.105「最後の晩餐」は一点透視図法を用いて描かれていますが，消失点はどこにあるでしょうか。見つけてみましょう。

2. 一点透視図法の描き方で自分の教室や部屋を描いてみましょう。



★『美術資料』の中には透視図法が使われた絵画がたくさんあります。探してみましょう。

ワークシート

鉛筆で明暗を表す

秀学社『美術資料』P.24・25「鉛筆で描く」

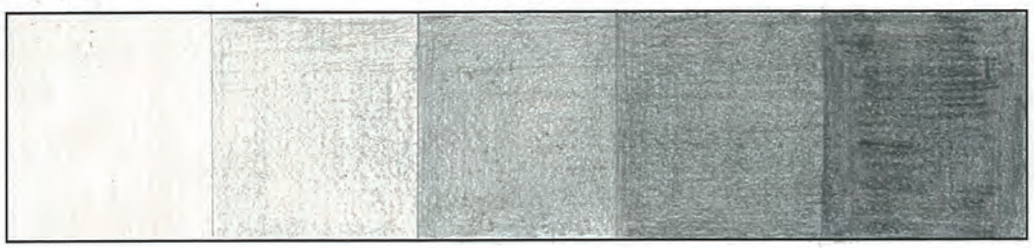
年　組　番　名前

複製禁止

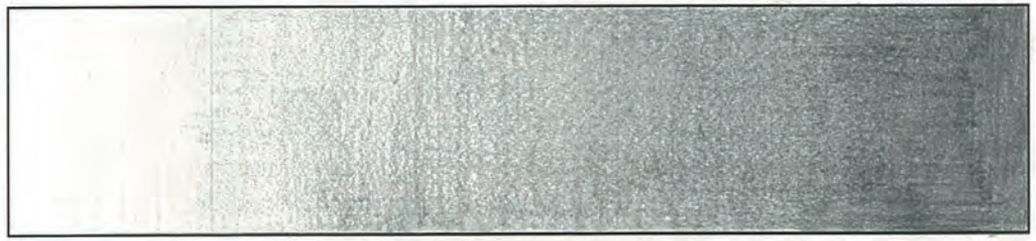
1. P.24「明暗を表す」を参考に，段階に分けて明暗を描きましょう。

調子をつけて表す

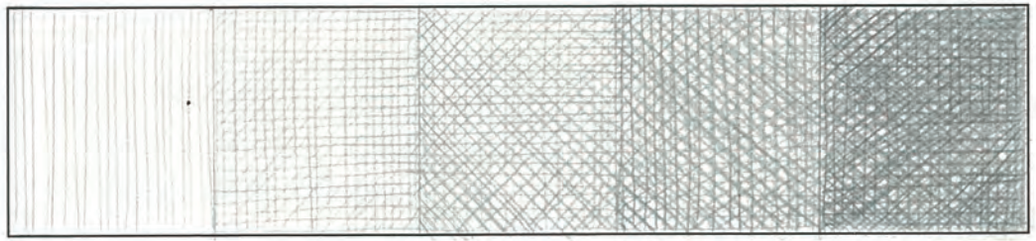
(白)　(中間)　(黒)



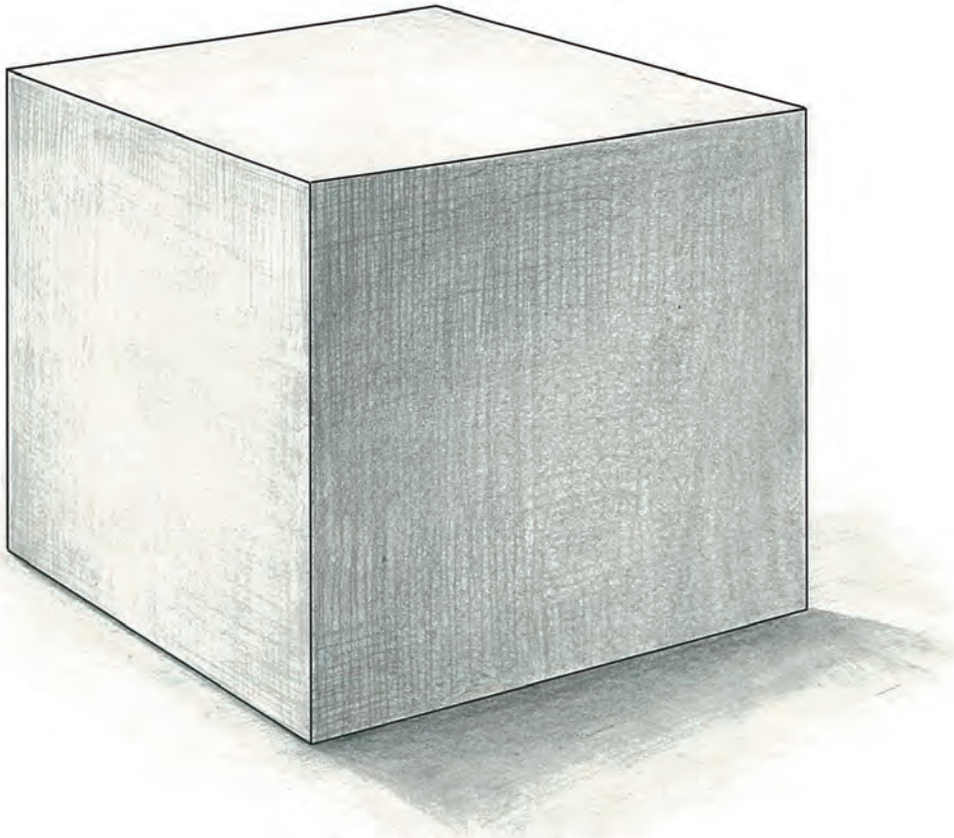
なめらかに変化させて表す



ハッチングで表す



2. P.25「立体感を表す」を参考に明暗やタッチを使って，下の立方体に陰影を表しましょう。



★いろいろなタッチで描くときに工夫したところや難しかったところを，友達と話し合ってみましょう。

ワークシート

質感の表現

秀学社『美術資料』P. 24 ・ 25 「鉛筆で描く」　　年　　組　　番　名前

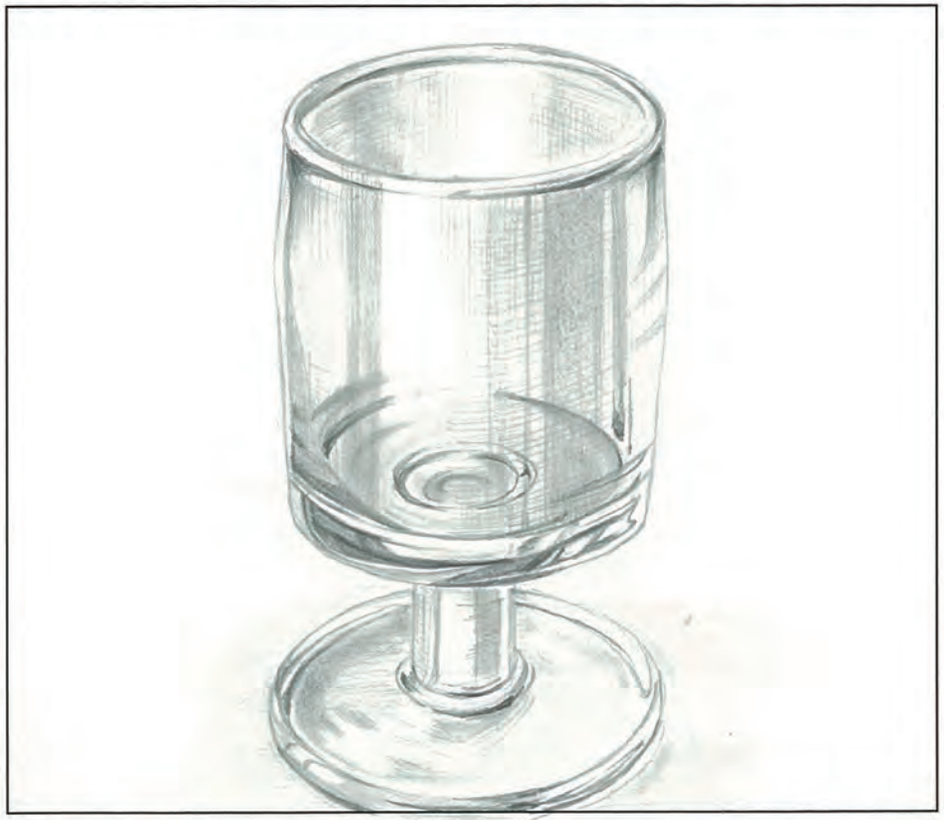
複製禁止

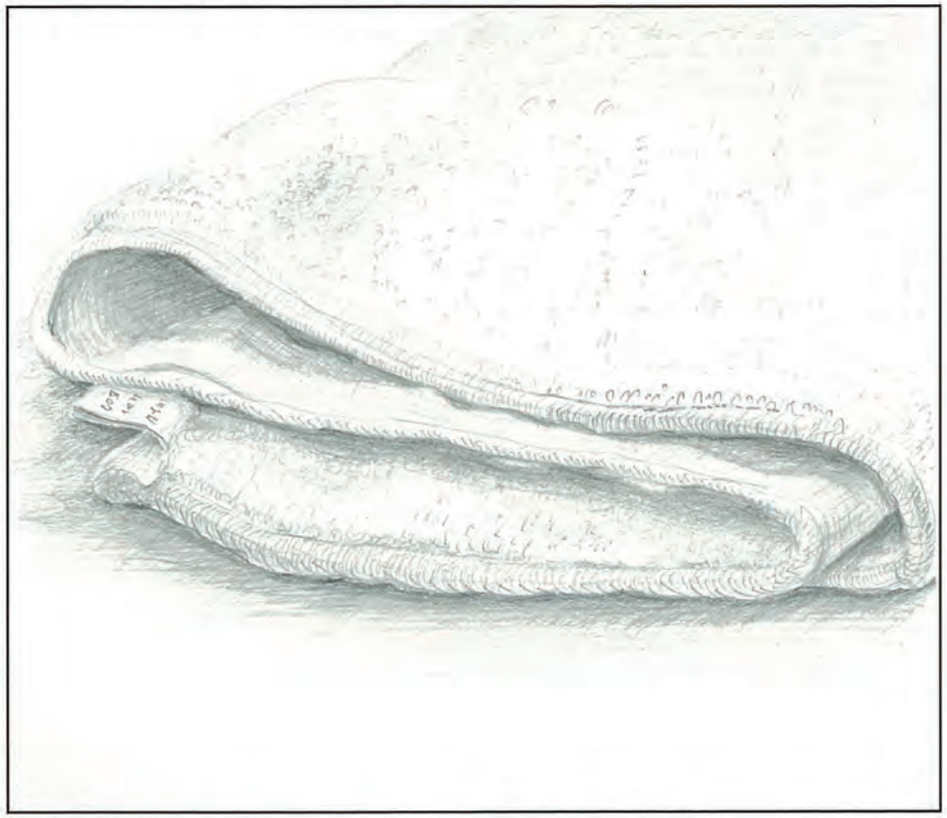
1. P.25「質感を表す」を参考にして，質感の異なる２つのモチーフ(固くて金属質なもの，やわらかくてふわふわしたものなど)を選び，見たとき，さわってみたときの印象をそれぞれ書きましょう。 ※モチーフ……描く対象のこと

モチーフの名前　（　グラス　）

モチーフの名前　（　フェイスタオル　）

2. １で用意したモチーフについて，見たとき，さわってみたときの印象を大切にしながら対比させて描きましょう。





★描いたものを友達と見せ合いましょう。それぞれ描かれたモチーフからどのような印象をうけるでしょうか。話し合ってみましょう。

ワークシート

抽象形による構成

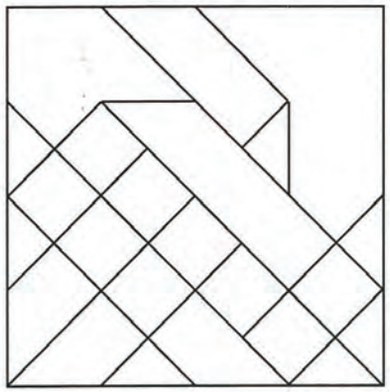
P.62　「抽象形を使った構成」
秀学社『美術資料』P.63　「構成美の要素」

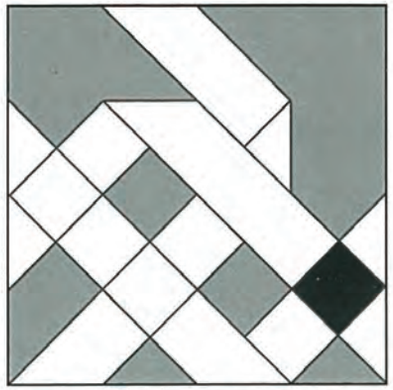
年　　組　　番　名前

複製禁止

等しい面の分割

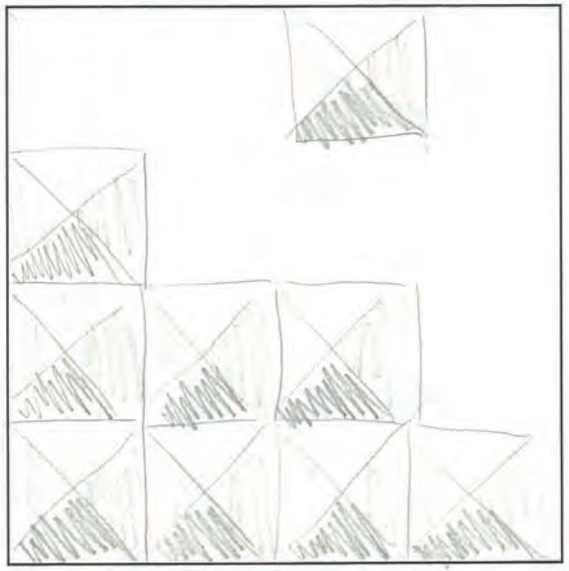
等間隔のマス目に線をひき，色で面をつくります。



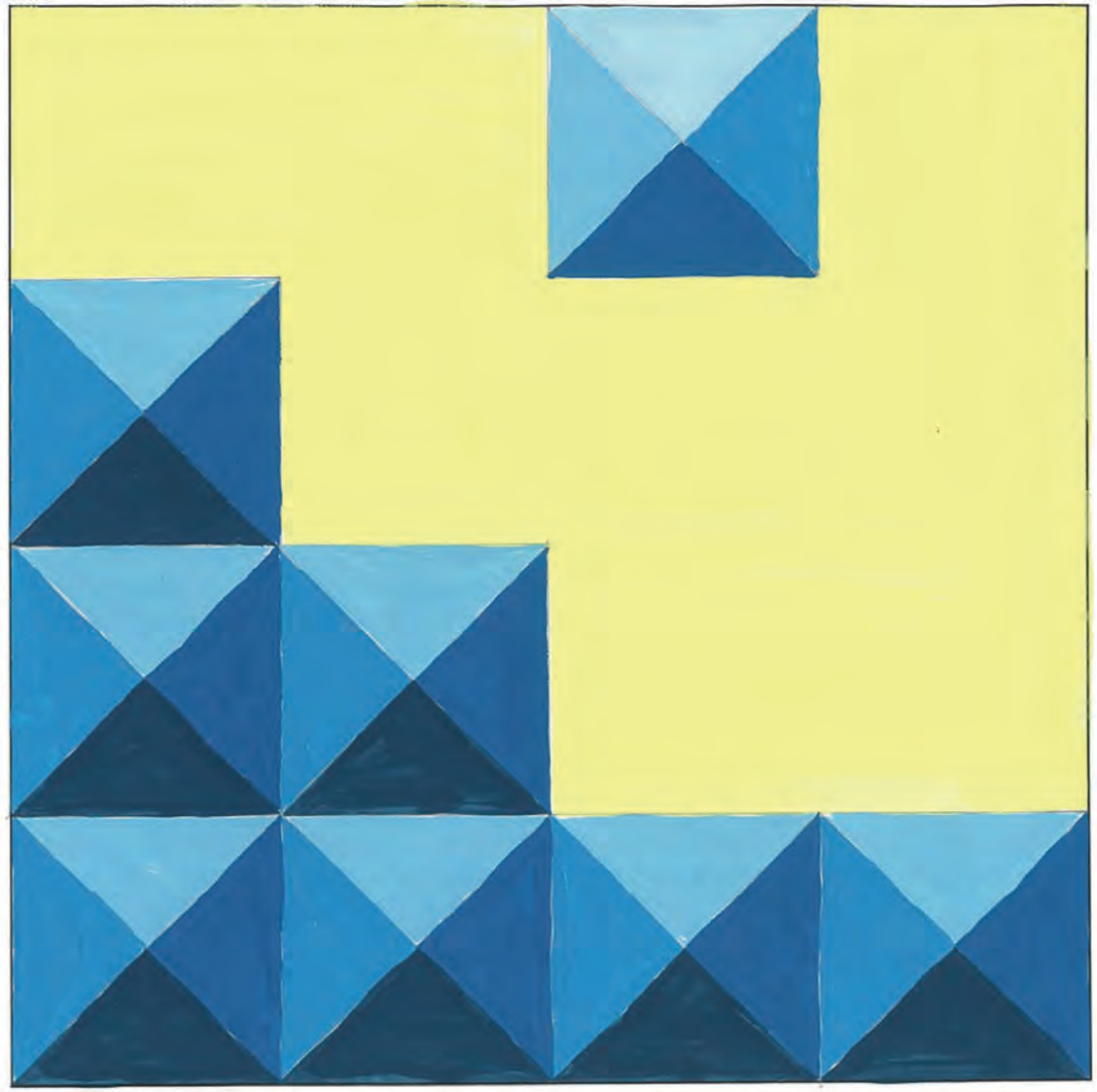


「アクセント」を使った構成

1. P.63「構成美の要素」を参考に，等間隔のマス目をてがかりに構成のアイデアを考えてみましょう。



2. 1.で描いた構想をもとに，抽象形による構成を描いてみましょう。
斜方眼シートや等角投影シートも使ってみましょう。



★表現するとき，どのような工夫をしましたか。描いたものを友達と見せ合いながら，話し合ってみましょう。

ワークシート

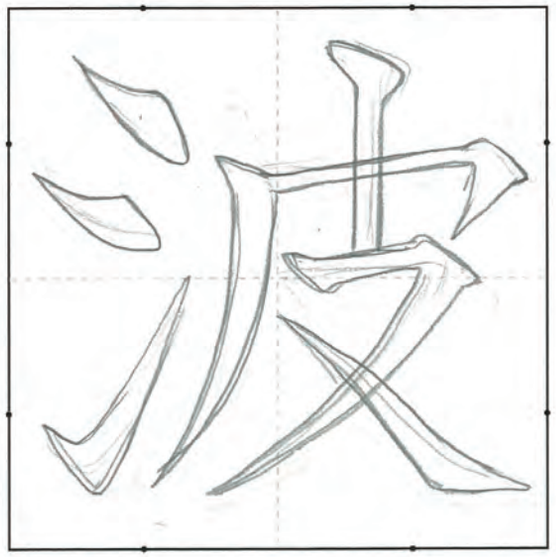
文字のデザイン

秀学社『美術資料』P. 64 ・65　「文字のデザイン」
P67　「絵文字」

年　　組　　番　名前

複製禁止

○ P.64 ・ 65「文字のデザイン」を参考にして構想をねり，枠内に文字をデザインしてみましょう。



ワークシート

作品鑑賞

秀学社『美術資料』P. 168 ・ 169「美術館へ行こう」

鑑賞した日時　年　月　日（　）　年　組　番　名前

複製禁止

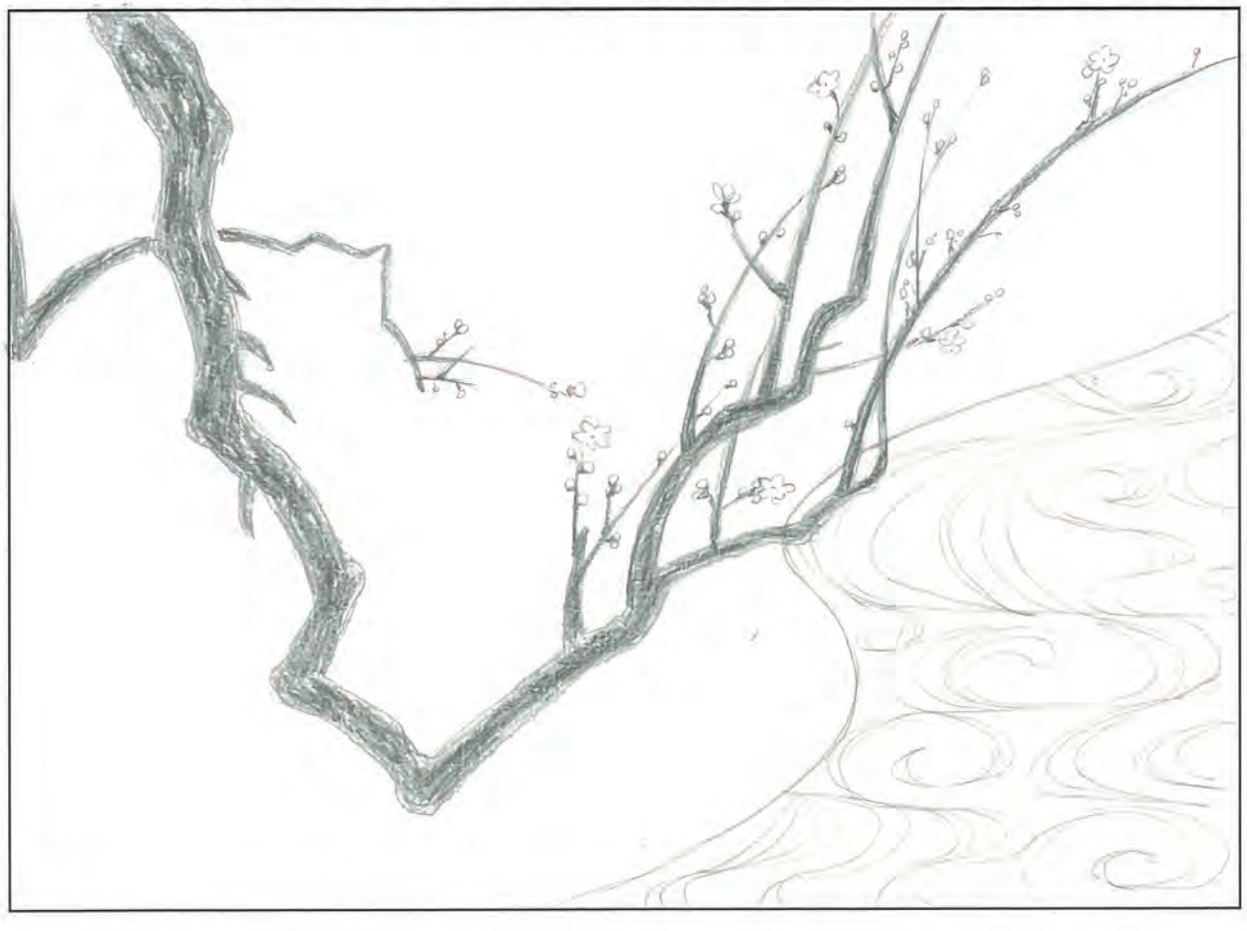
○美術館や美術資料，教科書の作品を見て，「お気に入りの作品」を選びましょう。　※美術館などでは作品保護のため，鉛筆で記入しましょう。

1. 「お気に入りの作品」の情報を記入しましょう。

作品名「 紅白梅図屏風 」　作家名 尾形光琳

制作年 18世紀初頭　材料・技法 紙本金地着色　サイズ 156×172.2cm　鑑賞した場所 資料集 P.128

2. 作品の特に気になるところをスケッチしましょう。（全体でも部分でもかまいません）



3. 【見つけたもの】気になったところに描かれているものや，その特徴（形，色など）を言葉で書き出しましょう。

梅の木の枝
根元はゴツゴツしていて
枝先は直線的に表現されている。

4. 【考えたこと】作品を鑑賞して，考えたことや思ったこと，感じたことなどを言葉で表してみましょう。

ダイナミックに表現された川が
印象的な作品だが，両端の
梅がそれを引き立てていると感じた。

なぜそう考えましたか？
抽象化されている川の表現に比べ
梅は具象的に描かれているから。